

様式第2（第18条関係）

2019年度 上期放射線管理等報告書

学院発 第19332号

2019年10月23日

原子力規制委員会 殿

住 所 東京都豊島区西池袋三丁目34番1号

名 称 学校法人 立教学院

代表者の氏名 理事長 白石 典義

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則第18条第1項の規定により次のとおり報告します。

工場又は事業所	名 称	立教大学原子力研究所
	所 在 地	神奈川県横須賀市長坂二丁目5番1号

1 放射性廃棄物の廃棄の状況

(1) 気体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度

① 放射性物質の種類別の年間放出量 本報告は上期報告につき本項目該当せず
 (単位：Bq)

測定の箇所等		種類		¹³¹ I	¹³³ I	全粒子状物質	³ H
		全希ガス	⁴¹ Ar				
排気口又は排気監視設備	排気筒						
		合 計					

廃止措置の進捗に伴い保安規定を改訂し（平成 17 年 1 月 4 日付けで認可）ガス濃度測定を廃止した。

② 放射性物質の濃度の 3 月間についての平均値及び最高値

(単位：Bq/cm³)

測定の箇所		濃 度		前半の 3 月間（4 月～6 月）		後半の 3 月間（7 月～9 月）	
		平 均 値	最 高 値 (注 2)	平 均 値	最 高 値 (注 2)		
排気口又は排気監視設備	排気筒	<2.0E-10	<2.1E-10	<2.8E-10	3.1E-10		

- 1) 廃止措置の進捗に伴い保安規定を改訂し（平成 17 年 1 月 4 日付けで認可）ガス濃度測定を廃止した。
- 2) 廃止措置の進捗に伴い保安規定を改訂し（平成 26 年 2 月 7 日付けで認可）じんあい濃度（ α ）の測定を廃止した。

(2) 液体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度

① 放射性物質の種類別の年間放出量 該当なし

(単位：Bq)

種類 測定の箇所等		全核種 (³ Hを除く。)	核種別			
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co
排水口又は監視設備は						
合計						
年間放出管理目標値						

(単位：Bq)

種類 測定の箇所等		核種別					
		⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁸⁹ Sr	⁹⁰ Sr
排水口又は排水監視設備は							
合計							
年間放出管理目標値							

(単位：Bq)

種類 測定の箇所等		核種別		³ H
		アルファ線を放出する放射性物質	ベータ線を放出する放射性物質	
排水口又は排水監視設備は				
合計				
年間放出管理目標値				

廃止措置の進捗に伴い放射性液体廃棄物の発生はなく、保安規定を改訂し（平成26年2月7日付けで認可）測定を廃止した。

② 放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値 該当なし

(単位: Bq/cm³)

濃度 測定の箇所		前半の3月間 (月～月)		後半の3月間 (月～月)	
		平均値	最高値	平均値	最高値
排水 口又は 排水 監視 設備					

廃止措置の進捗に伴い放射性液体廃棄物の発生はなく、保安規定を改訂し（平成26年2月7日付けで認可）測定を廃止した。

(3) 液体状の放射性廃棄物の保管量等 該当なし

(単位: m³)

施設の名称	立教大学原子炉施設	施設合計
放射性廃棄物の種類		
量		
前年度末保管量		
当該年度の発生量		
当該年度の減少量		
施設内減量		
施設外減量		
当該年度末保管量		
保管設備容量		

廃止措置の進捗に伴い放射性液体廃棄物の発生及び保管はなく本項目は該当しない。

(4) 固体状の放射性廃棄物の保管量等

本報告は上期報告につき本項目該当せず

(単位：本)

施設の名称 放射性廃棄物の種類 量	立教大学原子炉施設					施設合計
	可燃物	雑固体	金属類	イオン交換樹脂	フィルタ	
前年度末保管量	3(3)	58.3(56)	97.4(85.7)	4.0(3.0)	4.0(4.0)	166.7(151.7)
当該年度の発生量						
当該年度の減少量						
施設内減量						
施設外減量						
当該年度末保管量						
保管設備容量	炉室：170本 一次冷却系ピット：15本 付属プール15本 計：200本 (200リットルドラム缶換算本数)					

2 使用済燃料の貯蔵量等

該当なし

(単位：体)

施設の名称	立教大学原子力研究所	合計
使用済燃料の種類	/	/
前年度末貯蔵量		
当該年度の発生量		
当該年度の搬出量		
搬出先の名称		
当該年度末貯蔵量		
貯蔵施設容量		

平成15年8月米国エネルギー省・アイダホ国立工学環境研究所に搬出しており、本項目は該当しない。

3 放射線業務従事者の線量分布

(1) 放射線業務従事者の1年間の線量分布

本報告は上期報告につき本項目該当せず

線量 放射線 業務従事者	線量分布 (人)				
	5 mSv以下	5 mSvを超え 10mSv以下	10mSvを超え 15mSv以下	15mSvを超え 20mSv以下	20mSvを超え 25mSv以下
職員					
その他					
合計					

線量 放射線 業務従事者	線量分布 (人)				
	25mSvを超え 30mSv以下	30mSvを超え 35mSv以下	35mSvを超え 40mSv以下	40mSvを超え 45mSv以下	45mSvを超え 50mSv以下
職員					
その他					
合計					

線量 放射線 業務従事者	線量分布 (人)		総線量 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
	50mSvを 超えるもの	合計			
職員					
その他					
合計					

(2) 女子（妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を試験研究用等原子炉設置者に書面で申し出た者を除く。）の放射線業務従事者の3月間の線量分布

線量 放射線 業務従事者		線量分布 (人)				
		1 mSv以下	1 mSvを超え 2 mSv以下	2 mSvを超え 5 mSv以下	5 mSvを超え るもの	合計
前半の3月間 (4月～6月)	職員	1	0	0	0	1
	その他	—	—	—	—	—
	合計	1	0	0	0	1
後半の3月間 (7月～9月)	職員	1	0	0	0	1
	その他	—	—	—	—	—
	合計	1	0	0	0	1

放射線 業務従事者	線 量		総線量 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
	職 員	合 計			
前半の3月間 (4月～6月)	職 員		0	0.0	ND
	その他		—	—	—
	合 計		0	0.0	
後半の3月間 (7月～9月)	職 員		0	0.0	ND
	その他		—	—	—
	合 計		0	0.0	

4 試験研究用等原子炉の運転時間及び熱出力

廃止措置中

[試験研究用等原子炉の名称：立教大学研究用原子炉]

項 目 月 別	運 転 時 間 (h)	熱 出 力	
		平 均 (kW)	最 大 (kW)
4 月	—	—	—
5 月	—	—	—
6 月	—	—	—
7 月	—	—	—
8 月	—	—	—
9 月	—	—	—
合 計	—	—	—

廃止措置中：平成14年8月30日 解体届提出、平成16年3月29日 解体届の変更届提出
平成19年6月1日 廃止措置計画認可、平成24年5月1日 廃止措置計画の変更認可
平成27年7月1日 廃止措置計画の変更認可